

生命保険文化センターとの連携活動

生命保険文化センターの取組みと、生命保険協会が同センターと連携して行っている取組みをご紹介します。

■「講師派遣」関連活動

生命保険文化センターでは、全国各地の消費者行政機関や企業・官公庁等の要請に応じて、生命保険の上手な活用方法や生活設計、年金・医療等をテーマとした学習会、研修会等に、無料で講師を派遣しています。また、学生・生徒の皆さんに、生活設計・生活保障に関する基礎知識を学んでもらうために、授業時間の一部を利用して講義を行っています。各地方協会では、生命保険文化センターの委託を受けて、講師派遣案内活動とあわせて、一部、地方協会事務局長が講師業務を実施しています。

2018年度
講師派遣
実績

「生命保険実学講座」(学生・生徒向け)

645回開催・**35,401**名受講

(実施回数・受講者数ともに過去最高)

「生命保険学習会」(消費者向け)

154回開催・**9,279**名受講



消費者向け「生命保険学習会」

■「中学生作文コンクール」関連活動

生命保険文化センターでは、中学生に生命保険の役割や意義を考える機会を提供するとともに、作文を通じて情操教育の推進に寄与することを目的に、1963年から「わたしたちのくらしと生命保険」をテーマとした作文コンクールを毎年実施しています。各地方協会では、生命保険文化センターの委託を受けて、中学校に対するコンクールの周知活動や、地元新聞社に対する表彰者の新聞記事掲載に向けた取組み等、さまざまな案内活動を行っています。

2018年度
(第56回)
応募実績

2018年度(第56回)応募実績

全国**1,129**校から

34,870編

(応募作品数は二期連続過去最高)



第56回文部科学大臣賞を受賞した、静岡県静岡市立安東中学校の百竹陽奈子さん



中学生向け副読本 マンガ「生命保険って何だろう?」

公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年に設立されました。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の3つの事業を柱に、学校への講師派遣、消費者向け学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動等を行っています。

生命保険文化センターの諸活動は、ホームページをご参照ください。

